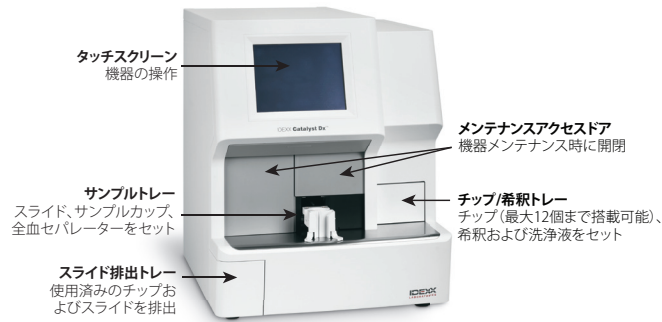


カタリストDx* 各部の名称



必要なサンプル量



サンプルの検査

1. 検査情報管理システム IDEXX ベットラボ*ステーションに患者情報を入力します。
2. 患者名が初期画面の検査待ちリストに表示されたら、**患者名**を押し、続いて選択を押しします。
3. **サンプルタイプ** (全血、血漿、血清、尿[†]、その他) を選択します。
4. NH₃ (アンモニア) スライドもしくはUPC[†]スライドを使用する場合は、該当するチェックボックスを選んでください。
5. 希釈オプション (自動あるいは手動) を選択し、続いて、上/下の矢印を使用して希望の希釈倍率を指定します。
6. **次へ**を押しします。
7. 特殊スライドを選択したり、自動希釈、手動希釈のいずれかを選択する場合は、画面に表示される方法に沿って操作してください。
8. サンプルトレーからスライドとサンプルを取り出します。
注: Lyte4クリップ[†]を測定する場合は、他のクリップあるいはスライドより先にサンプルトレーに挿入するよう注意してください。
9. **測定**を押しします。

測定結果の閲覧

検査が完了すると、患者名が検査中リストから検査結果リストに移動します。その後、結果出力の通知メッセージが表示されるか、ベットラボステーションがビープ音によりお知らせする場合があります。これはベットラボステーション設定画面の検査結果の通知タブで選択したオプションにより異なります。

希釈

希釈はサンプルが非直線性や無効な結果をもたらす干渉物質 (例: 薬物) を含む場合に実施する必要があります。カタリストDxは自動希釈 (機器がサンプルと希釈液を混合) および手動希釈 (ユーザーが機器外で希釈) に対応しています。

注: 弊社ではアンモニア (NH₃) あるいは電解質 (Na, K, Cl) の希釈は推奨していません。

特殊スライド

アンモニア (NH₃)

- NH₃ (アンモニア) 特殊スライドチェックボックスを選択しない、および/または画面上の指示に従わない場合、通知が出ると共に、結果は不正確なものとなります。
- サンプルトレーには、**他のスライドを挿入する前に**、アンモニアスライドを最初に挿入してください。

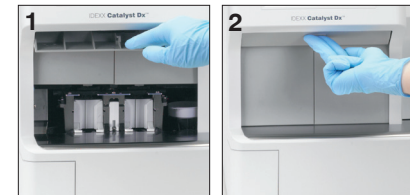
UPC

- 画面に表示される方法どおりに操作してください。
- UPCスライド以外のスライドをUPC測定で検査することはできません。UPROおよびUCREの単項目スライドのみ、UPC測定で共に測定することができます。

メンテナンスアクセスタを開ける方法



メンテナンスアクセスタを閉める方法



精度管理(QC)

1. カタリストDx*の内部を手入れしたあと、ベットラボ*ステーションの初期画面で**検査**を押します。
2. 患者登録情報画面にて、以下の情報を入力します:
 - a. オーナーID欄に、「**QC**」と入力します。
 - b. 患者名欄には使用しているコントロール溶液のロット番号(例: E9819)を入力します。
 - c. 動物種欄は、**その他**を選択します。
 - d. **次へ**を押します。
3. 検査理由として**その他**を選択し、カタリストDxのアイコンを選択したあと、**測定**を押します。
4. カタリストDxの初期画面の検査待ちリストに**QC**と表示されたら、それを選択、続いて**選択**を押します。
5. サンプルタイプとして**その他**を選び、**挿入**を押します。
6. ベットロール*コントロール溶液300 μ Lが入ったカタリストのサンプルカップをサンプルトレーにセットします。
7. サンプルトレーにQCクリップ、Lyte 4クリップ†、単項目スライドのいずれかを挿入します。
8. **測定**を押します。
9. カタリストDx*精度管理シートに掲載されている範囲と測定結果を比較してください。

クリーニングおよびメンテナンス

毎月、クリーニングする部品

- 光学ウィンドウ、インキュベーターリング、レファレンスタイル。
- シールド上にサンプルが付着している場合、低刺激石鹼と水で洗って残留物を取り除きます。丁寧にすすいで乾かし、取り付けてください。
- クリーニング後には、精度管理を実行してください。

3ヵ月ごとにクリーニングする部品

ファンフィルタを外し、動物の毛やほこりを掃除機でよく吸い取ってください。

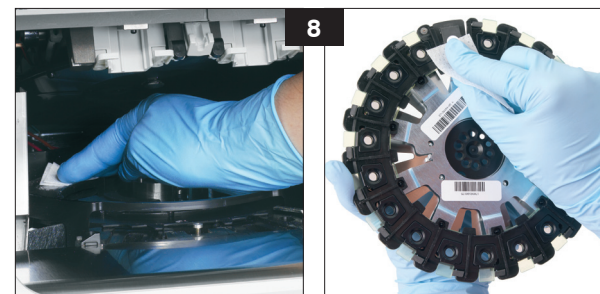
必要に応じてクリーニングする部品

- 定期的にソフトウェアのプログラムを更新してください。
- カタリストDxの画面に表示されたときには、内部部品をクリーニングしてください。
- 湿った(濡れていない)糸くずの出ない布で本体の外側をクリーニングします。油脂は低刺激液体石鹼で落とします。
- タッチスクリーンが汚れてきた場合、アンモニアを含まない静電気防止クリーナー、きれいな布もしくは紙タオルで拭いてください。スクリーンにはスプレーを絶対直接吹き付けしないでください。
- 糸くずの出ない布に70%のイソプロピルアルコールをしみこませて、スライド排出トレーの内側を拭いてください。

内部部品のクリーニング

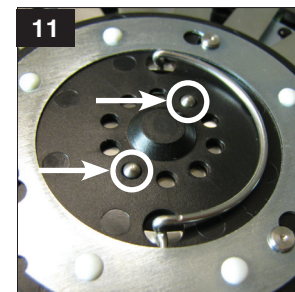
1. **ツール**を押します。
2. **クリーニング**を押します。
3. メンテナンスアクセスドアを開けます。
4. サンプルトレーステーションから黒の全血セパレーターキャリアを取り外し、サンプルトレーにサンプルカップまたは全血セパレーターがないことを確かめます。全血セパレーターキャリアに汚れが付着している場合、乾いた布で取り除きます。
5. 全血セパレーターキャリアを元の位置に戻します。
6. センターラッチを押し、持ち上げてサンプルトレーアセンブリを外します。
7. ローター中央のセンターワイヤーハンドルを真っ直ぐ上に持ち上げて、ローターを取り外します。
8. 糸くずの出ない布に70%のイソプロピルアルコールをしみこませて(70%のイソプロピルアルコールだけを含むアルコールプレップパッドが推奨されます)、以下の作業を行います。
 - a. 新しい清潔な布/パッドもしくはその新しい面を使って、インキュベーターリングのトラックの周りを反時計回りに拭きとります。

- b. 新しい清潔な布/パッドもしくはその新しい面を使って、光学およびイオンウィンドウをそれぞれ反時計回りに数回拭きとります。
- c. 新しい清潔な布/パッドもしくはその新しい面を使って、円を描きながらレファレンスタイルを数回拭きとります。



9. 付属の光学系専用ティッシュを使って、光学およびイオンウィンドウ、レファレンスタイルを反時計回りに数回拭きます。
10. 掃除した部品に湿った部分がないことを確認します。シミや汚れが残っている場合は、手順8~9の手順で繰り返しクリーニングします。

11. ローターが2つのローター固定位置にしっかり固定されていることを確認してローターを元に戻し、ハンドルを下げます。
12. サンプルトレーアセンブリを下げます。センターラッチを押し込んで所定の位置に固定します。



13. メンテナンスドアを閉めます。
14. カタリストDxのタッチスクリーンで、**完了**を押します。その後、機器が初期化を始めます。クリーニングが正常に完了したことがカタリストDxの画面上に表示されたら、**OK**を押して初期画面に戻ります。

†: 未承認製品 (2010年現在)

IDEXXテクニカルサポート

オーストラリア 1300 44 33 99	
米国/カナダ/南米 1-800-248-2483	ニュージーランド 0800-102-084
欧州 00800 1234 3399	日本 0120-71-4921